

令和 7 年度・職場環境等要件の取組について

社会福祉法人啓生会において、令和 7 年度の介護職員等処遇改善加算の「職場環境等要件」の取組は、下記のとおりとする。

【対象事業所】

- 特別養護老人ホームはまゆう
- はまゆう高齢者ケアプラザ短期入所事業部
- たんぽぽ
- リハビリ & デイサービスアールヴェール

職場環境等要件① 入職促進に向けた取組	●法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化 ●他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築
職場環境等要件② 資質の向上や キャリアアップに向けた支援	●働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等 ●研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動
職場環境等要件③ 両立支援・多様な 働き方の推進	●子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備 ●有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消
職場環境等要件④ 腰痛を含む 心身の健康管理	●介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施 ●事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備

職場環境等要件⑤ 生産性向上のための 業務改善の取組	●厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築（委員会やプロジェクトチームの立ち上げ又は外部の研修会の活用等）を行っている ●現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している ●5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている。 ●業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている ●介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入 ●介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器（ビジネスチャットツール含む）の導入 ●業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備。特に、間接業務（食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等）がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う ●各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICTインフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施
職場環境等要件⑥ やりがい・働きがいの醸成	●ミーティング等による職場内のコミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケアの内容の改善 ●利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供